

令和元(2019)年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	東京大学		
プログラム名称	先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム		
プログラム責任者	大澤 裕	プログラムコーディネーター	田村 善之

〔採択理由〕

AI や IoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れる Society5.0 の到来に向けて、法学主導により工学分野、医学分野、経済学分野などと学際的に融合したビジネスローという学問的手法を打ち立て、グローバルな視点を持ち高度技術に対応する法学人材を育成することを目的としており、現在そして将来の日本の社会課題に応えるプログラムとなっている。

21 世紀 COE プログラムやグローバル COE プログラムでの取組をはじめとした研究実績を基盤に、「法概念による包摂」という法学固有の特長を生かし文理融合や文系内融合といった異分野との学際融合によるバージョンアップを狙うプログラムである。プログラム担当者の質も高く、極めて質の高い教育プログラムであると言える。

ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて流動する中、保護主義的な政策を取る国も出てきており、こうした動きに法整備が追いついていないことは、企業経営等においても大きな課題であると考えられる。そのような状況を踏まえれば、複合的な知識や思考力を必要とするような問題を想定した高度な理論的・実践的教育が行われる点、また、現代的な法学実務的課題解決や具体的政策立案、国際的ルールメイキング等を先導できる高度な専門性を備えた人材を育成するという点において、極めて重要かつ社会的なニーズの高い領域を取り扱うものであり、これまでにない卓越したプログラムと言える。

また、東京大学は「東京大学ビジョン 2020」で、大学院改革を中核として掲げており、本プログラムは、その具体的施策である「国際卓越大学院教育プログラム

(WINGS)」において大学院改革の支柱の一つである文理融合・学際・新領域を担うプログラムとして明確に位置付けられている。「国際卓越大学院教育プログラム (WINGS)」構想においては、学内資源を集中投下しつつ、産学協創や国際協働等も推進し流動性の高い大学院のプラットフォーム構築に取り組んでおり、本プログラムもその枠組みの中で着実かつ戦略的に推進されることが見込まれる。

異分野との学際融合により意図した目的が達成されれば社会的意義は大きい。他の領域とのシナジーをどのように発揮していくのか更なる検討を重ね、プログラムを充実・発展させていくことを期待したい。